

## 平成26年度第1回弘前市地域包括支援センター運営協議会会議録

日 時 平成26年7月18日(金) 午後1時～午後2時15分

場 所 弘前市役所特別会議室

出席委員 土岐浩一郎、波多野厚緑、柴田典明、前田淳彦  
白取幹人、吉本睦子、奈良岡裕次、木立るり子、中谷恵  
欠席委員 田村瑞穂、今幸夫、木村留次郎、山中朋子

### ○案件1 平成25年度事業報告及び収支決算について

介護福祉課介護給付係 川田係長が案件1について説明  
同じく地域支援係 高松係長が案件1について説明

発言者	内容
白取副会長	はい、説明ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明に対しご質問あるいはご意見などございましたらお願いいたします。
中谷委員	25年度は事業実績の5ページからの質問ですけれども相談件数の中のその他というのは先程おっしゃった保健医療福祉の項目を南部包括さんが多いという件数が入るのかどうか？5ページのほうも上に書いてあります項目で、その他という件数がちょっと多いような感じがあったので、来所、電話、その他とあるんですが、ちょっとすいません質問がおかしくなりましたが、このその他というのはどういった方法での相談になるのか？南部さんも北部さんもそれなりに件数があるようですので、ちょっとどういう感じの内容なのか？と興味をもちました。あと下の方ですけど相談者の区分という所です。説明でありましたように家族が一番、ご本人が二番目、三番目で関係機関からの相談者となっております数を見ましてもそれなりの件数があるなと思ったんですが主にどのような機関から相談が来てるのかな？という所が気になりました。その他という若干数ですが第三包括さんの28件は結構数があるのかな？と思ひまして、その他というはどのような方が相談に来ているのでしょうか？というのを質問します。
高松係長	5ページの相談件数のその他という所ですが、こちらのほうは手紙とかメールとかファックスなどで相談される方が最近増えております。特にメールで来る方がちょっと増えてます。相談者の区分の所の関係機関になってますが、こちらの方は特に統計とっていませんが、民生委員さんからとか病院のほうからとかです。その隣のその他につきましては、近所の方からの相談というのがはいつております。以上です。
白取副会長	只今の説明でよろしいですか。
中谷委員	はい、ありがとうございます。
白取副会長	よろしいでしょうか？その他何かございませんか？
前田委員	2, 3ページの紹介率最高法人に関する実績の所で、各月、各包括支援センターでだいたい同じようなところが紹介率最高法人になっている様ですが、たまに違う所もあります、これはどういった様相でこのような状況になっているのか教えていただきたいです。
川田係長	包括と言ひましても、社会福祉法人だとかいろんな種類の法人が運営しておりますので、どうしても自分たちの法人に対して紹介率が高くなってしまっているのが現状でございます。これがあまりにも偏ってはならないという事で、50%という基準を定めております。この一番になっているのはその法人の事業所となっております。

白取副会長	他に何かございませんか。
中谷委員	一つだけ意見なんですが平成25年度地域包括支援センター事業実績報告書が11ページから各包括さんの実績がずっと載っておりまして報告書の方を一通り目を通して読んで見たんですけども今回の報告書の方は読むと具体的だし各包括さんの特にここに力をいれましたとか取り組みがわかりやすいものになっているなと思いました。例えば第二包括さんは二次予防の事業に力をいれましたということがよくわかりましたし、南部包括さんの方は、その他の取り組みの所に例えば感染症対策であったり防災対策だったり職員のスキルアップであったり内容が具体的に報告されていてとてもいいなと思いました。あと弘前市の虐待マニュアルというのが実際に活用されていたりとか周知を頑張っているとかそういった内容もありまして各包括さんがとても一生懸命頑張っているなと報告書を読んで感じました。それで各包括さんの特色も出てますし頑張っている具体的なやりかたとかも報告書に書かれていると思うんですが、各包括さんの取り組みを他の包括さんの参考にしてみるとか報告しあうとかの機会とかあるのでしょうか？読んで見て私の感想というか意見です。以上です。
白取副会長	ご意見ということですね。事務局のほうでお答えすることがあればお願いします。
高松係長	包括支援センターの連絡会というところで各包括の実績報告書とか計画書のほうを見てもらっているので、そこではお互いに見れると思っております。
中谷委員	わかりました。
白取副会長	それでは他に何かございませんか？
木立委員	<p>今、中谷委員からも意見があったように大変具体的でわかりやすく評価されているなと感じたのですが一部バラつきがあるかな？と感じる所がございまして、ちょっと確認をさせていただきたいなと思います。11ページの資料のところ、2の総合相談支援業務の今後の取り組みのところ、地域住民には、まだ十分認知されていない現状にはないということは、認知されているということですか？これがどっちかによって課題に対する取り組みなので、違ってくるのかなと思って現状ではまだ認知されていないのかな？という感じを私はもっているのですが、このあたりを確認させていただきたいなと思うました。</p> <p>また左の実施状況と課題と今後の取り組みというのが、ちょっとつながりがあるかわからない感じがして、ここ2番の所と次のページの4番の包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の実施状況からの課題と今後の取り組みがわかりにくい、つながりがわかりにくいなあとこの感じます。</p> <p>データ的に実施状況と課題今後の取り組みにつながっているように拝見はしたのですが一部ちょっと確認をしたいなあとと思うところ、実施状況と課題今後の取り組みというふうな状況から取り組みにつなげていくのはよろしいんですが今年度の計画があつて実施があつて課題と取り組みというふうにつながると考えれば今年度の目標を照らし合わせることができれば確認する立場の者としてはわかりやすいかなと思います。ちょっとお手間をかけることにはなるかと思いますが、もう一つ付け加えらるとすれば、26年度の事業計画と、26年度はまだ言ってないんですね。その事業計画同士で26年度と25年度の違いをどのように発展して進展していくのかがわかるためにもプラスになるし、あるほうがいいのかないかなと思ひまして意見させていただきました。</p>
高松係長	<p>ご意見ありがとうございます。各包括によって書き方バラつきはあるかと思うんですが、第一包括さんについてみると2番の総合相談支援業務の課題と今後の取り組みの①番、包括が相談窓口である事に関して、地域住民には、まだ十分認知されていない現状にはない。とちょっとわかりにくい表現だったと思います。ちょっとまだ認知されてない部分があるということで引き続きいろいろな場面で包括にも窓口あるよということを宣伝していくつもりで書いています。ちょっとこれから書き方の方も指導していきたいと思ひます。あと実施状況に①番②番と書かれていて今後の取り組みの方も①②ということで実施状況の①に対して課題取り組みの①に連携つながっているかという、ちょっと別に書かれていると思ひますので、ここも書き方のほうも検討して指導していきたいと思ひます。</p> <p>また25年度で計画した事業が25年度ではどのように実施されているのかということもわかりやすくするために様式の方も検討させていただきたいと思ひます。ご意見ありがとうございます。</p>

白取副会長	今説明ありましたけれどもよろしいでしょうか？
木立委員	ありがとうございます。
白取副会長	他に何かございませんか？
前田委員	質問です。11ページからずっと始まっている地域包括支援センター事業実績報告書の中からちょっと質問なんです、その中の2番の総合相談支援業務のところでは地域におけるネットワーク構築とあるんですが、その実施状況の所を見ていきますと高齢者支援ネットワーク会議それから地域包括支援居宅ネットワーク会議とかちょっと名称が違ってネットワークというのがいくつかあるようなんですが、具体的にはそれぞれどんなネットワークの会議があるのか？教えていただきたいのですが。
高松係長	各包括の方で会議の名称のほうをそれぞれ作っておりまして、多職種を集めている会議で連携をとったり、または居宅事業者の方だけを集めて連携とったりと様々な形で取り組んでいるんですけど、まず連携を取りたいという目的の方は同じになっておりまして、若干名称はそれぞれ違っております。
前田委員	内容としては同じだけど、包括毎に名前が違うだけということですね。
高松係長	各包括で、毎回認知症だとか振り込め詐欺とか毎回テーマを変えて話し合っております
白取副会長	他に質問が無いようなので、続いて案件2に移ります。

#### ○案件2 平成26年度事業計画及び収支予算について

介護福祉課地域支援係 高松係長が案件2について説明

発言者	内容
白取副会長	只今の事務局からの説明に対して質問はございますか。
土岐委員	事業計画書についてなんですが、先ほど前田先生がおっしゃっていたように、地域ごとにネーミングがあって独自の取り組みを行っているようですが、書類のせいでその違いが分かり辛くなっているので、地域独自の取り組みについては、もう少しわかりやすい様式にしていきたいと感じました。
高松係長	見やすくなるように検討していきたいと思います。
白取副会長	他に何かございますか。
波多野委員	チェックリストは何年に一回でしたっけ？
高松係長	三年に一回です。
波多野委員	その間にお体の具合が悪くなってしまう方もいると思うので、介護予防に上手く反映させるためにも、間隔をもう少し短くしていくように事業計画に盛り込んで行ってもらいたいです。こないだ県の会議に行った所、青森、八戸辺りでは4年に1回のようにでしたが、それではだめだと思うので、大変なのはわかっていますが何とか2年に1回くらいでやっていただきたいです。
高松係長	検討していきたいと思います。ちなみに今年度は、1月から4月生まれの方を対象に実施する予定となっております。
白取副会長	他に何かございますか。

前田委員	今、波多野先生からチェックリストの件について伺いましたが、薬局の方でも同じような内容で「街角セルフチェック」というものを行っているのですが、元々の業務と並行して行っていますので、まだ実績は上がっていない状況ですが、結果が出た際には介護福祉課の高松係長の所に持っていけばよろしいでしょうか。
高松係長	そうですね。その事業につきましては、まだ正確に把握していないので、これから検討していきたいと思います。
前田委員	ありがとうございます。この件につきましては、今後、健康福祉部の福田部長と話を詰めていきたいと思いますので、その時はよろしくお願いします。
福田部長	こちらこそよろしく申し上げます。
白取副会長	それでは他に質問は無いようなので案件3に移ります。

○案件3 包括支援センターの業務の評価について

介護福祉課地域支援係 高松係長が案件3について説明

発言者	内容
白取副会長	只今の報告に関して、質問やご意見のある方はいますか。
奈良岡委員	評価の基準についてなんですが、Aがあまりにも多いので評価が甘いと思う方もいると思うんですけど、どうでしょうか。事務局のお考えをお聞かせください。
須藤課長	そのご意見はもっともだと思います。と言いますのも、この評価については、25年度から始まったものであり、当初の計画で評価基準についても見直しをしつつ進めていくという事だったので、これから検討をしていくというお話でございました。まずは、今の段階では、各包括が評価されることに慣れていく事が大事だと思っておりました。
奈良岡委員	わかりました。順次、評価の段階を増やすなどして、各包括の差別化を図っていく必要があると思います。
須藤課長	ご意見ありがとうございます。今後の参考にしたいと思います。
木立委員	今の件についてもう一ついいですか。Aと言えば評価が良いように聞こえますが、基準を見てみると、実施していればAということなので、Aで当たり前ということですね。
須藤課長	そうですね。この基準でいくとAでなければ困るという事になりますね。
木立委員	そうなってくるとこの評価はランク付けとは呼べないことになりますね。ABCまであればまだ、ランク付けと言えなくはないと思いますけど。
奈良岡委員	AとBの二つしかないんですか。
須藤課長	今回は二つしかないです。
波多野委員	この評価については、今回初めてこのようにして表を使って出てきているものであり、この委員会の中でこれでいこうと決めたものなので、次回また新しい案を出していただいて、それに対して意見を出して決めることにしましょう。今は、ここに出ている結果だけを見て評価していく事にしましょう。
奈良岡委員	誤解があったかもしれないので、ABCの三段階じゃなくて、ABの二段階だったんですか。

須藤課長	追加で出しました評価表がこの委員会で決められた基準であり、25年度の評価を26年度に行い、評価をABCの三段階に決めたという風に記憶してございます。ですので、その話の中でこの評価方法等は最終的な結論ではなくて、これから評価をしていく中で、ご意見を頂いて適正化していきましょうということではじまったものだとして記憶しておりました。
奈良岡委員	ちょっと私の方で誤解しておりました。Cは全然ダメだという意味ではなくて、実施していないという意味だったんですね。実施していると実施していないというのがあって、Bは実施しているが評価が低いもので、Aは高いものという事ですね。実施していないものは評価のしようがないので、基本的にAとBしかないという事ですね。
須藤課長	そういう事もありますし、全然何もしてなくてC判定があれば口頭指導であったり、文書を包括の方に出すという風になっております。
白取副会長	せっかく評価するのであれば、できるだけ客観的にわかりやすく透明性の高い評価方法にしたいと思っています。 評価について他にご意見ある方はいますでしょうか。無いようなので、次の案件に移ります。

○案件4 平成26年度第1回小委員会審議報告事項  
(弘前市地域包括支援センター運営協議会小委員会報告書について)

弘前市地域包括支援センター運営協議会小委員会 柴田委員長が案件4について説明

白取副会長	只今の報告に関して、質問・意見等はございませんか。
土岐委員	わかりやすい報告書と説明ありがとうございます。最後の部分の委託料の増額という所に関してなんですが、収支の報告書等を見ると、ケアプランに追われているけれども、介護報酬もあてこまざるを得ないという実態が見えてきます。なので、委託料増額という部分に関しては、やはり期待するところは大きいです。私たちは日々の仕事を通して、包括はいつも大変で忙しいと聞いていますが、委託料という額でみると小さくない金額ですが弘前市の高齢者のための建設的な用途で支出される体制をつくっていただいて、機能強化に見合った分の増額をお願いしたいと思います。
白取副会長	今のご意見を十分に参考にして、事務局の方には対応していただきたいと思っています。 その他に何も無いようなので、これで平成26年度弘前市地域包括支援センター運営協議会を閉会いたします。

事務局の斉藤主幹から次回の日程についての説明と、小委員会解散の説明有